



ねろ

ねろ先輩で学ぶの  
楽しい催眠術H

R-18  
Adult Only







じゃあ——服をまくって  
胸を見せてくれるか

さてこうなっちまえば  
後はお楽しみ時間だ

ぽこ……

普段こんなことを言えば  
間違いなく激怒するが——

す………  
す………

これ………  
いいから

……うん

……あ……

あ……

ははは——どうだ!?  
何の疑問もなさげに  
ポロンと丸出した!

たぶん……

たぶん……

顔とは真逆の  
おっぱいしてるの  
最高だよな!!





じゃあそのまま動かないで

ぽん...

じゃあいつも通りで  
いただくとしても  
この育ちすぎたお嬢様の  
下品なおっぱいを

弱いところは  
把握してるしな

ぐんぐん  
キュッ

たがらん

にゅっ



相変わらず乳首弱いね

はい...

自慰のとき  
触りすぎたんだろ

ち...違いませ  
触ってなんで...

ぐんぐん

はっ



嘘はだめだな...  
じゃなきゃこんな胸に  
育たないだろう?

ほ...ほ...  
違いの...

たこ...

ぐんぐん  
キュッ

だって...?  
続けてくれ

キュッ











じゃあそのまま  
綺麗にしていってね♡

自分の出した母乳を  
自分で吸ってという変態  
プレイにじゅうくり染めつつ

刷り込みで  
常識を破壊してしま  
うてわけさー

そしてここからが  
お楽しみ時間ー

カーッ

トロオ...

まずは不意打ちで  
仕掛けてっど...









こっやって追い詰めると  
余計に反応が良くな  
っちゃうんだよなこの娘

先にイかないようにキョツキョと  
アソコ締めて腰を振って  
こっちを先にイかせようと  
必死になうたりしてる

あんまりに必死でおっきな  
おっぱいもブルンブルン振って  
るのが音でわかつちゃうよ

でも残念だけど  
もう君の身体は  
把握してるんだよな







ブツブツ!!

にゅにゅにゅ

ホラ

イツちやった♥

ア  
ハ





あ…あがご…あ  
ー…あ…あ…あ

あれ…？  
今イッた？

おっとじゃあ  
勘違いかっとな…  
ん…っ 出る…っ

ひっ…あっ  
あっあっ♡



そうなの？  
身体が震えて  
いるけどさ？

必死に声を押し殺して  
耐えてるけど身体は言ってる  
聞いてないんだけどね♡

キ…キの…せい  
だから…っなにも…  
あ…っ…っ♡

んん？ 今イキ声出て  
なかったかな？

ひっ…ん  
あ…っ…っ♡

声で確実にイッてる  
ってバレバレなんだけど  
本人バレてないつもり  
なんだろうなあ♡





さっきイッたよね  
ネウストラシムイ？

フ…フ…がいおの  
んこなやん…っ



フ…フ…おの

ふーん  
そうなんだ

さっき出たのが  
まだ止まっ…  
な…っ…っ

あーもう！  
健気な嘘がむちゃくちゃ  
かわいいよなー！



じゃあ

なんでミルク  
出ちゃってるのかな？



だからきょうちりと  
自分の口から言わせて  
やらないとね



ひっ...な  
なにを...

おんおんおんおん  
おんおんおんおん  
おんおんおんおん

な...なにこのおんおん  
続口...



いや...どう見ても  
出てるから  
どこまで言い張るか  
試してみたくてね

そ...そんな  
いや.....っ







そして後はミルクを乳首から  
垂れ流し続ける姿を楽しみ  
ながら腰を打ち付けて行く



普段なら絶対出さない  
声と痴態を晒しながら  
イキ続ける絶頂地獄



その間に彼女は  
イキつづけ



途中から人語が  
喋れなくなった

既に脳みそは快感

一色で真っ白になっている

トドメを刺そうか





そして彼女は人格を放棄した声を上げて  
激しい絶頂に落ちた

今までの最大の勢いで母乳を吹き出し  
ありえないアタマ顔を晒して



そしてここから新しい催眠調教の始まりだ



そして彼女は意識も手放した

ぷっさり糸の切れた人形のように脱力し絶頂の海に飲まれており



それじゃあ  
ネウストラシムイ

罰ゲームの  
時間だよ

彼女の今の状態は半覚醒  
半分は夢見心地の状態だ

現実感が薄いまま  
ある程度の判断  
能力がある状態だ

うんうん  
よく似合ってる

そのエッチな身体が  
映える格好だよ

それじゃあ罰ゲーム  
開始しようか

仕方ないよね  
これは罰だし――

はい…





そしてコートを手織らせた  
彼女と散歩を始めた

傍目にはデート  
に見えるかもしれない

大丈夫かい？

ええ…

それじゃあ…

そして人気のない  
公園までたどり着き



どうなってるか  
見せてみて

さあ早く

判断力は残ってる  
羞恥心は死んでない



ただ「罰」という概念が  
彼女の心を縛っている

はい…

「公共の場で異常なことを  
しているが罰だから仕方ない」と  
と理性が重圧をかけるのだ



うわ…  
すごい汗と  
母乳の匂い

この状態なら罰を上乘せ  
してコントロールし放題  
羞恥心はそのままに

彼女の意識を「改造」  
してコントロールできる



何回イッたの？  
ここに来るまでに

公共の場で変態行為に  
動じて感じて  
そう刷り込んでいくのだ

羞恥心はそのままに  
逆らえない体制を  
焼き込んでいくのだ



さ…3回…  
このん…

それは嘘だね？

えっ



この匂いと染み付いた  
母乳の量で3回なわけ  
ないじゃないか

ホントは10回ぐらい  
イッてないかな？

ち…ちが…っ

そう？  
そうかあ…

キョム

新しい反応だ—

次の罰を恐れてか

回数に嘘をついでる

本当に彼女の理性はすごいなあ

そうかそうか  
このえっちな子宮が  
3回しか満足してないのか

ひん…

ムンムン  
やめてえ…っ

えっ…

あそこの茂みに  
人がいる

さっそこからが  
腕の見せ所だな

えっ…  
うそっ!?

誰だか知らないけど  
よく見ていって—

待ってっ!

これから嘘つきお嬢様の  
変態母乳噴射絶頂シヨ—  
やるからね—

ほーら出るよー  
3…2…1…

ヤイヤイ  
ヤイヤイ  
ヤイヤイ





牧場の牛以下の変態母乳  
露出狂のネウストラシムイ  
ちゃんです♥

ほら、ピースして

今からもっとえっちな  
姿をお見せするので  
見ていってくださいー♥

ミルクまで垂れ流して  
牧場で放し飼いの牛でも  
もうちよっと慎ましいよ

はい、それじゃ  
観客に向けて  
挨拶しようか

あーあおしつこまで  
漏らしちゃって  
公共の場なのに



なんてことも夢では  
無いのだからこの催眠  
ペンダントがあれば

なにせKGB御用達  
だと通販ページに  
書いてたし——

ぐふふ...

あのね、この催眠  
ペンダントは、  
催眠効果がある  
のだから、

えっ!?

ヤバイ回に出して  
いたのか俺!?

外回りに出て  
来るよ!!

あ...「もしまた  
サボりなの!？」  
待ちなさい  
マスター——!

バタン!

まじか...

まじかこ  
いつたらないわ  
本当に.....

あれじゃ本当に  
指揮官なんだから  
困ったせのよね

何かしたいなら  
したいって言えは  
いいのに

もし誓約は  
この催眠

あの妄想だけは  
たぶんおっ  
意気地なし...

いこそ使ひませぬ  
かこの催眠の怪し  
催眠グッズ——





ペンダント?  
戦利品か何かか?

調査部にでも  
持っていくんなら  
明日に……



同志イワン  
ちよこっすか?

ん?

ちよこっすこれを  
見て欲しい



あー

あー

ちよこ同志

スルッ……

ここからは  
大人の時間

心の底から  
獣になっつて

スルッ……



もわあ……

WIN!!



あ……その  
せっかへかけ直す  
なら……

と……私は

思いついた案を  
実行し——



ああ……もう完全に  
なりおっすか……

催眠かけなおさ  
ないし……

ワンッ



ワンッ

ちよこ同志……

きつこっす  
じゃなく……



そしてその考えは  
大いなる試練を  
私に与えた

私の身体は  
モロ同然の扱い

しゃべるペニス  
—

しゃべるペニス  
—

ボクッ

手加減や制止一切無し

できる限り全力で

快感を貪つてと言った

結果こうなった

締めまりが悪くなると  
首絞めセックスになった

酸欠と絶頂の中で  
ペニス専用改造  
されていく気がして

恐怖と悦楽の両方で  
頭がおかしくなった

イワノフはいつも疲れたように私とセックス  
していたがどうやら私が小さいので無意識に  
加減をし続けていたのだろう

本気で私を犯すイワノフは  
文字通り殺しても構わない  
くらいに振り切っている

これまでもたまりきった精液を吐き出され  
私は彼が体力が尽きるまでの間に言葉を  
奪われ脳まで精液タンクに成り果てた

翌日

ソユーズ：

腰が痛いんだが  
お前なにかしたか？

同志イワノフ

同志は心に飼った  
強大な獣を絶大な  
愛の鎖で縛ってる

愛の証明をして  
くれてありがとう

はあ？

おしまい



スケベな絵以外でも  
ネウストラシムイはかわいい  
という主張のコーナー。

セリフから察するにこの  
先輩、概ね家庭的なことの  
担当にされてる感じの  
イメージがあります。  
掃除なんて率先してやって  
ピカピカにしてそうな  
タイプの娘、好きです。



テレセリフを確認すると  
フルーツキャンデーで  
大喜びする姿があり、  
普段はお茶やトウモロコシ  
やらの手料理を振る舞う  
姿から、他所の国のお菓子に  
あまり縁がない気がします。  
そこでフレデリカちゃんか  
おいしい料理を振る舞って  
くれるみたいです。

脂肪の範囲を増やすために。



「行きましょう、ヴェールヌイ  
わたくし達のコンビを敵陣に  
見せつけてやるために——」  
「Da…(前より大きくなって)」

ヴェールヌイとの関連セリフから  
一時期仲良くやってて、その後  
別れ、再度出会ったことから  
今はいいコンビやってそうな  
気がします。

そして互いに成長を知るといふ。



「ソユーズ姉さん、何でウォッカを  
かけたんです!!? 大火事になる  
ところなんですけど!!」  
「ごめんつい癖で——」

料理の最中にソユーズが隣に立った  
「用心せい。とりあえず火力を上げ  
たいときに最適な万能なお水ちゃん  
をかまどに振る舞ってみたりした  
ソユーズ姉さんがこちら。」



誓約セリフは必見のネウストラシムイ。  
すごい焦り方をした後のあれそれは  
とてもいいものです。その後のデレセリフ  
も併せて是非ご堪能ください。  
是非ご堪能ください。  
いいから7-4掘って手に入れて指輪を  
渡してあげて。はやく。どほかく。





## 人物紹介&奥付



元スパツナズのはたらくおじさん。  
人間凶器スパックで深海軍と戦って  
いたが両足をふっ飛ばされて義足に。  
その後ソユーズに好かれて人生詰んだ。  
あと最近原因不明の腰痛になった。



ハタシかつ童貞指揮官。  
ネウストラシムイが秘書についてから  
ムラムラが止まらない思春期(25)  
泣きぼくろがチャームポイント。  
時々妄想でトリップしてる。



ロシア最強の恋愛脳。  
イワノフおじさんの人生を詰ませたが  
さらに完全無欠なロリコンにすべく  
日夜鍛錬を欠かさない。  
今回予想外の反撃を受けてパートナー  
が持つ愛情の鎖に惚れ直した。  
次渋った時は撮影込で行くつもり。



ロシア駆逐艦巨乳ランキング1位で  
今もなお成長中。背は伸びない。  
ルドルフは、残念なトコ込みで好き。  
ブツブツ言ってる妄想トリップに  
対して「……触ってもいいわよ」  
って言ったけど全然目に届いてない。  
不本意ながら母乳が出る体質。  
多分お家は田舎の豪農的なところ。

発行者: 矢本堂落書市代表 yamoto

TwitterID: yamoto

印刷所: 同人誌印刷ドットコム様

この本は二次創作です。幻萌様およびMoe Fantasy様とは一切関係ありません。

【注意】この本の無断複製、全体を画像化しての無断アップロードは禁止します。

サイトで発見した場合、1DLにつき500円を請求させていただきます。



# 戦艦少女R Fanbook



Present by 矢本堂落書市